

令和5年3月27日 開 会

令和5年3月27日 閉 会

第34回 総 会 議 事 録

十日町市農業委員会

第34回十日町市農業委員会総会議事録

1. 開催日時 令和5年3月27日（月）午前9時03分から午前10時14分

2. 開催場所 中里庁舎3階 大会議室

3. 出席委員

①農業委員 22名

会 長 3番 村山 隆義

会長職務代理 8番 古高 悟

1番 小林 幹司		15番 長津 俊男	21番 重野 りえ子
2番 若井 君男	10番 菅井 太一	16番 佐野 幸男	22番 近藤 正男
4番 根津 徳男	11番 富井 公一	17番 樋口 則雄	23番 樋口 富行
5番 村山 浩一	12番 北村 公太郎		24番 島田 勝広
6番 金澤 茂	13番 庭野 喜由	19番 須藤 英雄	
7番 川田 正	14番 水品 正幸	20番 村山 太郎	

欠席委員 9番 高橋 清一、18番 村越 益男

②推進委員（招集委員 15名）

1番 庭野 誠一	14番 金澤 拓男	21番 高橋 勝則	29番 山賀 巳喜夫
	15番 樋口 倉蔵	23番 桑原 朝平	31番 相澤 成一
10番 綱 大介	18番 村山 進一	24番 廣田 幸男	33番 村山 幸夫
13番 佐藤 三代治		26番 村山 伸一	

欠席委員 8番 池田 太一、20番 山家 勝一

4. 議事日程

日程第1 議事録署名委員選出

日程第2 農地法等の規定に基づく報告について

報告第1号 農地法第18条6項の規定による通知について（18件）

報告第2号 農地転用事実確認願いについて（4件）

報告第3号 農地法の適用を受けない事実確認願いについて（1件）

報告第4号 農用地利用配分計画について（新潟県農林公社 3件）

日程第3 農地法の規定による許可申請処理について

議案第1号 農地法第3条の規定による許可申請について（5件）

議案第2号 農地法第4条の規定による許可申請について（1件）

議案第3号 農地法第5条の規定による許可申請について（4件）

日程第4 十日町市農用地利用集積計画について

議案第4号 十日町市農用地利用集積計画について

- ・新規（53件）
- ・農地利用集積計画一括方式（12件）
- ・再設定（115件）

日程第5 農地の権利移動に係る「下限面積」について

議案第5号 農地の権利移動に係る「下限面積」の廃止について

日程第6 農地利用最適化推進指針及び最適化活動の目標設定等について

議案第6号 農地等利用最適化推進に関する指針及び最適化活動目標の設定について

その他

5. 農業委員会事務局職員

本	局	局	長	栗原	茂	中	里事務所	主	査	上村	知誉
本	局	次	長	富井	悟	松	代事務所	主	事	柳	裕子
本	局	主	任	島本	翠	松之山事務所	主	査		高橋	松由
川	西事務所	主	任	佐藤芽久実							

6. 会議の内容

別紙の通り

6. 会議の内容

村山議長 これより第34回農業委員会総会を開会いたします。

本日の出席状況ですが、18番委員からの欠席が届けられております。そのほか、9番委員が遅れているようでございますが、連絡が取れていないので、遅れて出席になるのか、その辺定かではございませんが、24名中現時点で2名欠席でございますので、在任委員の過半数が出席でありますので、第34回総会が成立することを宣言いたします。

次に、日程第1、議事録署名委員の選出でございますが、議長に一任願えれば幸いです、いかがでしょうか。

(異議なし)

村山議長 承認いただきましてありがとうございます。

それでは、指名させていただきます。第34回総会議事録署名委員は、20番委員と21番委員の両名からお願いいたしたいと思います。

あわせて、記録につきましては事務局に一任願えれば幸いです、いかがでしょうか。

(異議なし)

村山議長 異議なしということでございますので、そのように進めさせていただきます。

では、日程第2、農地法等の規定に基づく報告についてでございます。報告事項は第1号から第4号までございますが、全ての報告が終わりました後にご意見、ご質問を頂戴いたしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

では、事務局、説明願います。

【報告第1号～第4号説明】

村山議長 ただいま事務局より報告第1号から第4号までございましたが、全体通してご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 特にないようでございますので、続いて日程第3、議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」5件申請が出ておりますので、この内容についてご審議をお願いいたしたいと思います。

では、事務局、説明願います。

事務局 それでは、9ページをお開きください。今月の農地法第3条の規定による許可申請は5件です。いずれの案件も農地法第3条第2項各号の不許可要件に該

当しないため、許可要件の全てを満たしております。

【議案第1号、13番朗読】

村山議長 では、13番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

5 番 こちらについて、面談にて確認をしてまいりました。この譲渡人ですが、こちら松之山町時代の第1号の担い手ですが、解散するというふうなことを伺ってまいりました。せがれさんはいるんですけども、どうもこちらに戻ってこないということなので、法人のほうを解散するというふうなことを言われていました。第1号ということで、松之山町のほうでも大分推したところもありまして、解散してしまうというのは非常にもったいないなというふうに思っております。議案どおりですので、よろしくお願いいたします。

村山議長 13番の案件につきまして、ただいま担当委員より報告ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

20 番 この80歳の方が2町歩今後やるんですか。

5 番 自分たちが食べる分とかその他もろもろやるというふうなこと言っていました。

村山議長 ほかにございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 特にないようございまして、では次に、14番、説明願います。

【議案第1号、14番朗読】

村山議長 では、14番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

11 番 場所は如来寺集落内です。117号線より50メートルぐらい入ったところです。両者に面談と電話で確認をしました。記載のとおり間違いありませんでしたので、よろしくお願いいたします。

村山議長 では、14番の案件につきまして、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 ないようございますので、では15番、説明願います。

【議案第1号、15番朗読】

村山議長 では、15番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

11 番 場所は貝野の堀之内です。譲受人の住宅のすぐ脇になります。両者に電話で確認をしました。記載のとおり間違いありませんので、よろしくお願いいたします。

村山議長 では、15番の案件につきまして担当委員より説明ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 なしということでございますので、では16番、説明願います。

【議案第1号、16番朗読】

村山議長 では、16番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

16番 23日に両者に電話にて確認をいたしました。それで、場所なんですけども、国道の253号から樽沢集落へ新しい道が切れましたけども、その上のところに田んぼがありまして、その下へ水路トンネルがありますが、その水路トンネルまでのことを言っております。これ地上権というもの、私もよく分からなかったんで、東日本の担当者にお聞きしましたところ、土被りが30メートル未満の場合、地上権設定するということで回答を得ました。記載のとおり間違いなことを確認いたしました。よろしく願いいたします。

村山議長 16番の案件につきまして担当委員より説明ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 なしということでございますので、では17番の案件、説明願います。

【議案第1号、17番朗読】

村山議長 では、17番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

19番 譲受人には面談で、譲渡人には電話で確認してまいりました。譲渡人のほうは、長岡に住んでおられまして、こちらには戻らないということで、譲受人に譲与するということでございました。あと記載には間違いございませんので、よろしく願いします。以上です。

村山議長 では、17番の案件につきまして担当委員より説明ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 異議なしということでございますので、では議案第1号「農地法第3条の規定による許可申請について」5件の審議が終わりましたが、改めてお諮りいたします。

この5件について許可することに決定いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

村山議長 異議なしでありますので、そのように決定させていただきます。

続きまして、議案第2号「農地法第4条の規定による許可申請について」1

件の申請が出ておりますので、ご審議をお願いいたしたいと思います。

では、事務局、説明願います。

【議案第2号、1番朗読後、説明】

村山議長 では、1番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

12番 3月22日に川西事務所の担当者と現地確認をしてきました。住宅の計画変更で軒先がほんの少し境界上空を過ぎてしまったためにこういう案件となりました。ほかは問題ないと思いますので、よろしくお願いします。

村山議長 1番の案件につきまして担当委員より説明ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 異議なしということでございますので、改めて議案第2号「農地法第4条の規定による許可申請について」この1件、許可することに決定いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

村山議長 異議なしでありますので、そのように決定させていただきます。

続きまして、議案第3号「農地法第5条の規定による許可申請について」4件の申請が出ておりますので、ご審議をお願いいたしたいと思います。

では、事務局、説明願います。

事務局 それでは、12ページ、議案第3号をご覧ください。今月の農地法第5条の規定による許可申請は4件出ております。

【議案第3号、7番朗読後、説明】

村山議長 では、7番の案件につきまして、担当委員、説明願います。

22番 場所は原集落です。ここは、数年前に住宅を取り壊して、畑として利用しながら売りに出していた場所です。それで、昨日双方に確認しました。記載のとおりであるということでございますので、よろしくお願いいたします。

村山議長 では、7番の案件につきまして担当委員より説明ございましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 特にないようでございますので、では8番、9番、関連がございますので、続けて説明願います。

【議案第3号、8番・9番朗読後、説明】

村山議長 では、この8番、9番の案件は3番の私の担当ですので、説明させていただきます。

きます。

この場所については、現在は耕作、畑としてやっていたとでございます。そこについて今回譲受人が開業なさるということで、この対価につきまして、全体の面積に対してこの合計の金額なんですが、8番案件と9番案件で建物の面積案分でこの全体の借地料を計算して出してあるんで、大分差があるように見えますが、そういう計算方式で出してあるというようなことでございました。そのほかについては、申請のとおりでございます。以上です。

8番、9番の案件につきまして、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 異議なしということでございますので、では10番、説明願います。

【議案第3号、10番朗読後、説明】

村山議長 では、10番の案件も3番の私の担当ですので、説明します。

この場所については、西本町区画整理区域内で、この辺については以前何回か転用が出ている場所でございます。そのほかについては、記載のとおり間違いございませんでした。以上です。

10番の案件につきまして、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 異議なしということでございますので、議案第3号「農地法第5条の規定による許可申請について」4件の審議が終わりましたが、改めてお諮りいたします。

4件について許可することに決定いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

村山議長 異議なしでございますので、そのように決定させていただきます。

続きまして、日程第4、議案第4号、農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による「十日町市農用地利用集積計画について」でございます。

この利用集積計画については、新規設定53件と一括方式による設定11件及び再設定115件、計179件についてご審議いただきたいと思います。

なお、この案件につきましては事務局の議案書読み上げは行わずに、順次担当の委員から確認報告をいただき、最後に一括してご意見、ご質問を頂戴したいと思います。

なお、今回時間の都合で推進委員さんは自分の担当案件を一括説明していた

だきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

事務局　それでは、13ページの議案第4号をご覧ください。今月の農用地利用集積計画についての案件は、借手変更を含む新規の利用権設定が53件、農用地利用集積計画一括方式が11件、再設定が115件で、合計118件です。以上の計画要請の内容は農業経営基盤強化促進法第18条第3項の各要件を満たしていると考えています。

なお、農用地利用集積計画一括方式の案件については、27ページから機構から市への同意と県から機構への同意文書を添付してあります。農業委員会から市への意見回答は不要ですが、農業委員会は内容について確認及び承認をする必要があることから、推進委員の方はこの一括方式についても出し手、受け手へ内容を確認いただき、総会で報告をお願いしたいと思います。

村山議長　では、まず利用集積計画について。1番推進委員より報告いただきたいと思います。

(推) 1番　一括なんですけど、たくさんあるので、取りあえず84番から87番の4案件は、親子の経営継承の案件でございます。確認を取りましたので、間違いございませんので、お願いします。

18ページの97番、98番も経営移譲を受けて耕作するということで確認取りましたので、間違いございませんので、お願いします。

24ページの112番、123番も親子の経営継承の案件になりますので、これも確認を取りましたので、間違いございませんので、お願いします。

それから、26ページ、128番の案件も親子の経営継承の案件になります。確認を取ってありますので、間違いありません。よろしくお願いします。

村山議長　次に、8番推進委員の案件ですが、今日は欠席ということで、19番委員、確認をお願いします。

19番　19ページの103番、続いて20ページの107番、21ページの109番、110番、両者に電話で確認取ったという報告を受けました。記載には問題ございませんでしたので、よろしくお願いします。以上です。

村山議長　次に、10番推進委員の案件、当人ですので、22番委員、報告願います。

22番　21ページの111番から23ページの118番までですが、譲受人が担当の推進委員でございますので、私が代わって報告させていただきますが、譲渡人のほうには確認済みだということで、間違いはないということでございますので、よろしくお願いします。

村山議長 次に、13番推進委員、確認報告願います。

(推) 1 3 番 確認してまいりました。記載のとおり間違いありませんので、よろしくお願いします。

村山議長 次に、14番推進委員、確認報告願います。

(推) 1 4 番 124番から127番ですが、譲受人が同じで、あと4名の方に確認いたしましたら、記載のとおり間違いございませんでした。よろしくお願いいたします。

村山議長 次に、15番推進委員、確認報告願います。

(推) 1 5 番 20日に両者に確認したところ、間違いがないということでした。審議のほうをよろしくお願いします。

村山議長 次に、20番推進委員、願います。

1 2 番 推進委員20番、欠席のため、農業委員12番が代わりに報告します。

16ページの90番、91番、全ての人に確認したところ、間違いがないという報告を受けました。よろしくお願いします。

村山議長 次に、23番推進委員、願います。

(推) 2 3 番 21ページ、108番、両者に電話で確認しました。記載どおり間違いございませんでした。よろしくお願いします。

村山議長 次に、24番推進委員、確認報告願います。

(推) 2 4 番 まず、13ページ、77番、78番、79番、80番、81番、82番、それから17ページです。93番、94番、95番、それと18ページ、19ページ、99番、100番、それから24ページです。120番、121番。以上につきまして、両者というか、いっぱいいるんですけど、確認いたしました。間違いございません。よろしくお願いします。

村山議長 では次に、29番推進委員、確認報告願います。

(推) 2 9 番 19ページ、102番なんですが、両者に電話にて確認を取り、確認いたしました。間違いありませんので、よろしくお願いします。

村山議長 次に、31番推進委員、確認報告願います。

(推) 3 1 番 13ページの76番、17ページの92番、19ページの101番、23ページの119番につきまして、確認してまいりました。記載のとおり間違いありませんので、よろしくお願いします。

それで、20ページにつきまして、私の息子の案件なんで、20番につきまして、5番委員からお願いしたいと思いますが、よろしくお願いします。

村山議長 では、106番の案件につきまして、105番、106番ですね。

5 番 105番、106番、こちら31番推進委員の息子さんの案件でございます。こちら両者に確認を取れているということですので、記載どおり間違いはございません。よろしくお願いいたします。

村山議長 次に、33番推進委員、確認報告願います。

(推) 3 3 番 16ページの89番なのですが、両者に確認取りました。記載のとおり間違いございませんでした。よろしくお願いいたします。

村山議長 では、この後、今度一括方式のほうの確認報告をお願いいたしたいと思います。28ページ以降になります。では18番推進委員、確認報告願います。

(推) 1 8 番 この5人の方につきましては、両者に確認いたしました。間違いありませんでした。よろしくお願いいたします。

村山議長 では次に、21番、高橋委員、確認報告願います。

(推) 2 1 番 30ページの20番から31ページの23番まで、議案どおり間違いございませんので、よろしくお願いいたします。

村山議長 次に、24番推進委員、確認報告願います。

(推) 2 4 番 12番の案件ですけども、両者確認取りました。間違いございません。よろしくお願いいたします。

村山議長 次に、26番推進委員、確認報告願います。

(推) 2 6 番 訪問にて確認いたしました。記載のとおり間違いございませんでした。よろしくお願いいたします。

村山議長 以上で一応一括方式を含めて各推進委員から確認報告いただきましたが、ご意見、ご質問ございませんでしょうか。

(質問、意見なし)

村山議長 特にないようであれば、一括方式についても含めてこの利用権の設定を公告したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

(異議なし)

村山議長 異議なしでございますので、そのように決定させていただきます。

続きまして、日程第5、議案第5号「農地の権利移動に係る「下限面積」の廃止について」でございます。ご承知のように法改正によりこの4月1日より下限面積が廃止されるということについての議案となりますので、ご審議いただきたいと思います。

それでは、事務局、説明願います。

事務局 それでは、61ページをお開きください。一番最後のページとなります。農地

の権利移動に係る下限面積の廃止についてです。農地の権利を取得する場合、農地法第3条に基づく農業委員会の許可が必要となっており、その許可要件として十日町市では許可後の耕作面積が下限面積以上になることが必要とされていましたが、令和5年4月1日以降は農業経営基盤強化促進法の一部改正により下限面積に係る規定が削除され、経営規模にかかわらず農地の権利取得ができるようになることから、十日町市農業委員会が独自に設定していた下限面積である別段面積及び空き家に付随した農地の別段面積を廃止するものです。ただし、農地の権利取得の際における下限面積以外の要件については、変更がありませんので、申し添えておきます。以上となります。

村山議長 ただいま事務局より説明ございましたが、この案件について、皆さん、ご意見、ご質問ございますでしょうか。

特に今までの下限面積10アール以上という面積の縛りはなくなったんですが、ただ農地法3条の中での耕作要件等はそのまま残っておりますので、今後こういう申請が上がった場合に、しっかり農地として利用していると、その辺の確認が今まで以上に必要になってくるのではないかと思います。細かなことについてはまだ国等からきちっとした提示が出てきていません。ただ、4月1日より下限面積が廃止になるということだけで、上部団体からの意見の中ではもう少し、ちょっと確認する際、きちっとした指針が必要なんじゃないかというようなことも出ておりますが、まだ今のところその辺が示されていませんが、一応4月1日から下限面積が廃止されるということでございますので、十日町については空き家に付随した農地についても、最近では毎月1件くらい案件として出ておりましたが、そういうことも含めて面積による縛りがほどけたということをご理解いただきたいと思います。よろしいでしょうか。

また、いろいろな指導等が入ってきた場合、スムーズに委員さんには情報提供させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

では、この議案第5号についてはよろしいでしょうか。

(異議なし)

村山議長 では次に、日程第6、議案第6号「農地等利用最適化推進に関する指針及び最適化活動目標の設定について」ということで、事務局、説明願います。

事務局 それでは、議案書別冊、議案第6号をご覧ください。農地等利用最適化推進に関する指針及び最適化活動目標の設定についてです。農業委員会等に関する

法律第7条第1項の規定に基づき、農地等の利用の最適化の推進に関する指針を平成29年12月に策定しましたが、このたび農業経営基盤強化促進法の一部が改正されたことから、改正法に伴う内容を反映させるため、従来の指針を修正するものです。修正内容としましては、農業委員や農地利用最適化推進委員が農地などの利用の最適化を推進するため、遊休農地の発生防止、解消、担い手への農地利用の集積、集約化、新規参入の促進などの活動を行うに当たっての目標や推進方法を追記した内容となっております。以上です。

村山議長 今ざっと説明がございましたが、事前にこの案について、この赤字のところが修正内容になっているということでございますが、何か皆さん、これ事前にお読みいただいたりした中でお気づきの点等、ご指摘がございましたら、どうでしょうか。指針を策定して、今度目標地図といいますか、そういうのを来年の4月だったかまでにつくっていかなければならないというスケジュールが示されておりますが、またその時々説明したり、目標地図つくるときにまた審議いただいたりということになるかと思いますが、これについていかがでしょうか。特にないでしょうか。後ろのほうの担い手への農地の利用集積、集約化に向けての具体的な進め方だとか、中には所有者を確認できない農地はどうしたらいいかとか、いろいろあるんですが。

14番 質問なんだけど、2ページ、遊休農地連続5.8ヘクタールって、どこからどう見て5.8ヘクタールなんだか。何を基準としてるのか。この最初の管内の農地面積の7,465ヘクタールは、現在耕作しているところなのか、それとも全体の農地面積なのか。

事務局 まず最初に、管内の農地面積ですが、これ農家台帳に載っている現況が農地の面積です。遊休農地の面積なんですけども、毎年皆さんから調査してもらっているのを集計していく中で判定3でご報告いただいたものを集計したものになります。この遊休農地というのは、例えばトラクターぐらいで何とか復旧できるような農地を掲載しております。そのほかに、重機とかバックホーとかブルとか入れて大規模に天地返しとか、そういうのしなきゃいけないような農地はこのほかにいっぱいあるということで、この遊休農地に載っているのはまだ復旧が可能な農地、簡単に復旧ができる農地というのを掲載、掲上してございます。実際はこれよりも大分もう手をつけられないような状況の農地もたくさんあるということでございます。以上です。

村山議長 14番委員、よろしいでしょうか。

14番 はい。

村山議長 要するに皆さんから農地パトロールしていただいた中で、簡単に農地に復旧できるような判断をいただいたところの面積をここへ掲載してあるそうでございます。

2番 5ページになるんですか、新規参入促進について、現状が17で、目標が14となっていますし、後ろから2枚目というか、そこには新規参入の促進で現状及び課題の中に、現状が令和2年が2で、3年が1となっていますが、この令和5年の3月で17というのは、これは令和4年度に17人あったということでしょうか。

事務局 これ主に担当しているのは農林課のほうで担当しておるんですけども、一応農林課のほうに確認しまして、ここの数字は何人ですかということで確認しましたところ、令和5年3月時点では新規参入が17人ということです。

2番 はい、分かりました。

20番 3ページ目ですかね、担い手の育成、確保という資料なんですけど、現状と目標ってあるんですけど、これだけ人口減するのに総農家数は現状維持なんです。だって、減っちゃいけないんですか、目標って。どう考えても人間減るようになっているんですけど。

事務局 まず、この6,550というのは2020年の農林業センサスの数値が今基準となっておりまして、確かに20番委員がおっしゃるとおり、今の状況考えると農家戸数は減っていくというのが皆さん大分予想ができるかと思いますが、取りあえず目標ということで、なるべく減らさないような目標を考えております。

村山議長 要するに引退なされたり、農業から変わる部分と、その分新規に就農なさる方の部分も含めて、希望的目標を立てて、少なくとも最低でも現状維持という中で担い手のほうについてこういう形で増やしていきたいというような計画なんだと思いますが。

20番 こう言っちゃなんですが、人間、人口とかそういうのって一番当てになる数字なのに、これをこれでやっていけばどう考えたって計算ずれるようになっていって、いや、これでいいんだというんだったらいいんですけど、年間計画絶対ずれましたになるはずなんで、若手が、だんだん、だんだん担い手の負担がもう増えるしかないんで、だったら機械化をこれだけ増やしますとかという話とか、機械ばんばん入れます、圃場整備ばんばんしますみたいな、そういう提案のほうはまだ若手とか、あとこれから農業始める子にとっては分かりがいい

い話だと思います。

村山議長 これは、要するに基盤整備だとか、そういう農業の施設拡充だとか、それとはまた別の課題になってくるかと思いますんで、ちょっと計画を立てなきゃならないという中で、こういう個数的には現状維持。ただ、担い手の負担、ウェートが増えていくというような計画をここに一応提示したんだかと思います。

事務局 この計画、本来修正がかかった場合は、ほかの市町村ですと2年置きとか3年置きに改定しているところもあるんです。今回この計画に基づいたのが、先ほど会長が申し上げたように、目標地図のそちらのほうの関係とかも絡みがありまして、本来であれば増やしてもらいたい目標というのが普通、通例なんですけども、今ほど20番委員がおっしゃったように、ここの部分のところはどう見ても将来的には多分下降。逆に言うと、営農組織自体が今度は増えてくるんじゃないかなというのが、予測なんですけど、一応農業会議のほうから示された目標の形からすると、最低限現状維持した形で当初設定という話もあったりなんかしたもんですから、うちのほうで下降というよりは現状維持という形の一応目標という。

20番 分かりますんであれなんだけど、でも今のところは、例えば過去10年、過去20年の下がり率分かれば、もうどっちかといえば下がるの分かっているんだし、あとこれから団塊の世代の方が大分、今75前後ぐらいになっているんですか。

あと10年頑張ってくださいって。お願いします。

村山議長 この目標設定について、またこの後にそういう地図等つくるという順番、ステップ踏んでいかんきゃなんないわけなんですけども、これについても、ぶっちゃけた話、現状の中でそんなにきちっとした地図ができるかどうかというような話も出ていまして、今後これを進めていって、地図をつくる中でも大分確度の低い地図をまず最初つくり出して進めていくよりしようがないんだろうなど。よそのところでも大分いろいろ議論されていますが、今後図面をつかっていくとかそういう段階に入っても、非常にアバウトな図面から入っていくよりしようがないだろうなというような話も出ておりますんで、まずは当初計画を、あまり現実的じゃない計画になっている部分もありますが、一応目標として最低限現状をある程度維持していった中で立てていけという指導もありますんで、その辺は皆さんからご理解いただいた中で、またいろいろな点について提言いただいたり、質問いただいたりしたいと思いますが、ほかにござい

ませんでしょうか。

- 24番 企業参入の推進という欄がありますが、これは後ろから2枚目、3枚目でしょうか、ちょうど真ん中辺ですけども、これ読みますと、担い手が不足している地域では、企業の農業参入が地域の担い手確保に有効な手段であることから、農地中間管理機構も活用して積極的に企業の参入の推進を図るというふうに文言入れていますけど、これに対して農業委員会としてはどういう対応を予定をしたらいいかというのをちょっとお聞かせ願えればいいかと思いますが。現状、分かる範囲でお願いします。

村山議長 現状といいますと、新規参入でつい最近では松之山地区で〇〇〇〇さんが一回△△△△さんに譲った部分、そこを解散するんで、また改めて再参入といいますか、新規参入とか、今なかなかどこも厳しい状況の中で、皆さん市内の中ではたまに新規参入というようなことで関わってきて、農業法人とは別に一般企業で今新規参入なさってずっと続いているところは、私はちょっと記憶定かじゃないんですけども、□□□□さんがもう約10年ぐらいになるのかな、新規参入いただいて、ここはずっと非常に条件の悪いところも含めて、独自に販売ルートつくったりした中で、ずっと継続して条件不利地の農地をやっているところもありますし、二、三年前にはNPO法人◎◎◎◎さんが新規参入して、耕作放棄地から始めて、今水田あるいは畑作で、今年あたり今度エゴマをやったり、あと乾燥野菜だとか、そういう野菜を加工して販売する、これ小国のほうでそういう関係のところは廃業した施設をそっくり取引先も譲り受けて、工場を造って、今年度より工場を稼働させていきたいというようなお話も伺っておりますが、そういう形で少しずつですが、その地域によってなかなか引き受け手のないところにそういう農地を受けて参入いただける企業があれば、また皆さんから情報提供なり、また働きかけいただいて進めていければいいんじゃないかと思います。新規参入については、今の段階ですと新規参入の審査会というのをやった中で、営農計画ですとか、地域との関わりですとか、そういうことをいろいろ担当地区の委員さんと協議、説明受けたりした中で、新規参入というような形で皆さんにお諮りして、今入ってきていただいているのが現状です。取りあえず以上ですが、よろしいでしょうか。

- 24番 ありがとうございます。全国的に見ると、もう今まで入っていて、それがうまくいかず撤退している企業も非常に多いと聞いております。ただ、それが、うちのほうでいうと小松原も入ったんですけど、残念ながら撤退。そういった

ことの後のフォローを誰が一体どういうふうにしたらいいか、これも併せて企業参入のその後、条件不利にならないように、農業委員会としてはしっかり見たほうがいいのかなという提案をさせていただきます。ありがとうございました。

村山議長　ありがとうございました。こういうことについては、また各地区の情報等も委員さんのほうから上げていただきながら進めていければいいんじゃないかと思いますが。

ほかにご意見、ご質問ございませんでしょうか。よろしいでしょうか。

（質問、意見なし）

村山議長　では、この件につきましては、今説明した中でこの方向で指針をつくったということで進めていくということでよろしいでしょうか。

（異議なし）

村山議長　では、これで議案につきましては全て終了しましたが、ではこれをもちまして第34回総会を終了させていただきます。